

# 市川市におけるグリーン購入の推進

**平成21年度取り組み結果報告書**

平成22年7月

市川市 環境清掃部 環境政策担当

# 市川市におけるグリーン購入の取り組み

## [経緯]

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会は豊かで便利な生活を造りあげましたが、一方で温室効果ガスによる地球温暖化など深刻な環境問題をもたらしています。こうした問題に対応していくには、従来型の社会システムから物質循環を基調として資源循環型に変え、持続的発展が可能な社会を構築していく必要があります。

そこで、市川市では自らが事業者であり消費者であるとの立場から、環境に配慮した行動を実践していくために「市川市地球温暖化対策実行計画」を策定し、省エネルギー・省資源への取組を推進しています。

この取組の一つとしてグリーン購入を全庁的に推進するため、「国等による環境物品等の調達に関する法律」の制定を受け、指針及び各年度の市川市役所調達方針を策定し、対象品目や品目毎の目標値を定め取り組んでいます。

### グリーン購入とは

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

## 1. 平成 21 年度 市川市役所調達方針

紙類や文具類をはじめ、オフィス家具やOA機器など18分類220品目を調達推進品目と定め、調達する全ての商品をグリーン購入適合品とすることを目指し、取り組みました（調達目標100%）。

ただし、平成20年度まで、第2種調達推進品目として供給環境等の特殊事情を考慮して調達目標を50%以下としていた公共工事と、平成21年度から新たに対象とされた防災備蓄用品の2分類については、調達目標を80%として取り組みました。

## 2. 調達実績

### (1) 分類別達成実績

全分類の平均調達率は81.4%で、概ね目標を達成しました。

目標値を100%とした16分類においては、さらに高く82.8%の調達率となりました。分類ごとに見ると、80%を超える高い率となっているのは16分類中10分類で、商品の種類(品目)は137品目に及び、様々な商品においてグリーン購入が行き届いていることがうかがえます。

残念ながら十分な取り組み結果とはならなかった分類のうち、調達率が50%台と特に低調で、全体の調達率を引き下げる要因となっているものに「自動車等」が挙げられます。これは、業務内容(清掃関係)から一定のエンジン出力を要する特殊車両の購入が必要であったためにグリーン購入とできなかったものです。

目標値を80%とした「防災備蓄用品」と「公共工事」については、単純な購入量に対する調達率では下表のとおりですが、目標に対する達成率を見ると、「防災備蓄用品」は83.3%、「公共工事」は91.7%となり、概ね目標を達成しております。

### 分野別調達率(%)

目標値	分類番号	分類名	商品例	品目数	調達率(%)
100%	01	紙類	コピー用紙、ティッシュペーパー等	8	91.6
	02	文具類	シャープペンシル、のり等	81	91.0
	03	オフィス家具等	いす、机、ホワイトボード等	10	82.8
	04	OA機器	コピー機、複合機等	14	81.1
	05	家電製品	冷蔵庫、テレビ等	3	100.0
	06	エアコンディショナー等	エアコンディショナー、ストーブ等	3	75.0
	07	温水器等	電気給湯器、ガス温水機器等	4	88.9
	08	照明	蛍光灯照明器具、ランプ等	5	72.5
	09	自動車等	自動車、タイヤ、エンジン油等	5	58.3
	10	消火器	消火器	1	79.4
	11	制服・作業服	制服・作業服	1	76.4
	12	インテリア・寝装寝具	カーテン、ベッド、毛布等	4	80.2
	13	作業手袋	作業手袋	1	61.2
	14	その他繊維製品	テント、シート、	2	100.0
	15	設備	太陽光発電システム等	5	100.0
18	役務	印刷、自動車整備等	6	86.8	
				平均	82.8
80%	16	防災備蓄用品	ペットボトル飲料水、ブルーシート等	9	66.7
	17	公共工事	エコセメント等	58	73.3
				平均	70.0
全分類の平均					81.4

## (2) 分野別年度比較

平均調達率は平成17年度から継続して80%に近い高い水準が維持されており、安定した取り組みがなされている結果と考えられます。

今年度が昨年度に比べやや下がった主な要因としては、目標を80%に抑えた「防災備蓄用品」と「公共工事」を算入に加えたことが挙げられます。第2種調達推進品目という特別枠の設定がなくなったために今回から加えることとしたものです。これら2分類の平均調達率は、平成21年度上半期56.7%であったのに対し、同下半期は83.3%と大きく伸びており、次年度においてはさらに調達が進むものと思われれます。なお、これら2分類については一定の取り組み結果となることを予め見込み、平成22年度においては目標を100%に引き上げております。

### 調達率の推移(%)

分類	分類名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
1	紙類	95.9	86.9	99.3	90.3	91.6
2	文具類	90.3	87.8	99.7	92.6	91.0
3	オフィス家具	-	-	-	98.5	82.8
4	OA機器	77.8	78.6	95.1	87.5	81.1
5	家電製品	100.0	100.0	100.0	97.4	100.0
6	エアコンデショナ-等	89.5	100.0	100.0	50.0	75.0
7	温水器等	0.0	100.0	100.0	-	88.9
8	照明	-	90.0	95.7	93.9	72.5
9	自動車等	100.0	100.0	100.0	47.2	58.3
10	消火器	-	74.7	91.7	100.0	79.4
11	制服・作業服	99.6	80.0	98.1	94.0	76.4
12	インテリア・寝装寝具	80.0	66.7	96.8	99.8	80.2
13	作業用手袋	39.0	61.2	49.4	96.6	61.2
14	その他繊維製品	-	99.9	100.0	96.7	100.0
15	設備	-	-	-	-	100.0
16	防災備蓄用品	-	-	-	-	66.7
17	公共工事	-	-	-	-	73.3
18	役務	92.8	96.2	76.2	99.3	86.8
	平均調達率	78.7	88.0	93.2	88.9	81.4

## [考 察]

平成13年度から導入されたグリーン購入に対する取り組みですが、9年目となる平成21年度まで、安定して高い調達率が維持されてきました。これは、従来からの商品だけでなく、毎年度拡大される対象商品に対しても十分に取り組むことができた結果と思われます。

平成21年度の取り組み結果を商品の種類（品目数）から見ると、全220品目のうち137品目において80%以上の調達率となっており、目標達成率が80%を超える「防災備蓄用品」と「公共工事」を加えればその数は204品目に上り、全体の93%を占めることとなります。また、量的な面から見れば、圧倒的な購入量である紙類及び文具類において91.3%という極めて高い調達率となりました。

このことは、グリーン購入の趣旨やその重要性が、職員の意識だけでなく、実際の事務手続きにまで、また、販売業者の側にまで、浸透してきたことの現れであると考えられます。

全体としては概ね目標を達成できたと言えますが、「照明」、「制服・作業服」や「作業用手袋」などは、平成20年度に比べ大きく調達率を下げている、分類により格差があることも明らかとなりました。

グリーン購入できなかった理由としては、価格面での問題や既存の購入ルート（業者）での入手が困難など、今後改善余地のあるものから、性能面で対象商品等の購入が困難であるものまであり、今後、対象品目毎に除外する商品等を設定するなど、よりきめ細かい対応が必要と考えております。